

# 震災・原発事故から市民の命とくらしを守る市政を求め奮闘

## 9月議会

### 市長に放射線測定の実施と学校給食の放射性物質調査など申し入れ

日本共産党市議団は、9月30日～10月6日にかけて市内の公園を中心に、16ヶ所48地点で放射線量の測定をおこないました。



放射線測定をおこなう日本共産党市議団

これらを踏まえ、10月19日に市長に対する申し入れをおこない、「全小中学校、保育園、幼稚園、公園などで放射線量の調査（土壌調査を含む）を継続的におこない、結果を公表すること。また、放射線量が高い場所は除染をすること」「学校給食食材の放射性物質の測定をおこない、公表すること。牛乳についてはメーカーに対して、放射性物質の継続的な測定と公表を求めること」——など5項目を求めました。

最も放射線量の値が高かった鶴間公園の雨水浸透枡は、申し入れ後、除染（撤去）がおこなわれました。

町田市内の空間放射線量で0.2μシーベルト/時以上の地点

地点名	平均値
1 金森第5都営集会所	ベランダ前土(1) 0.205
2 鶴間公園	ベランダ前土(2) 0.210
3 小山内裏公園	雨水浸透枡 0.318
4 野津田公園	トイレ脇 0.224
5 小野路公園	小野路屋敷雨どいの下 0.229
6 小野路グラウンド	第一駐車場側溝 0.200
7 日向山公園	ひなた村駐車場 0.288
8 町田中央公園	野球場ライト側スタンドの側溝 0.212
9 芹ヶ谷公園	虹と水の広場の側溝 0.219
10 芹ヶ谷公園	落ち葉集積所 0.251

測定日●2011年9月30日、10月5日、10月6日  
測定者●日本共産党町田市議団と専門家  
測定器●日立ALOKAメディカルシンチレーションサバイメータTCS-151  
測定方法●地表5センチで表示数値を10秒間隔で10回読みとり(値は平均値)  
詳しくは日本共産党町田市議団のホームページをご覧ください。

### 全小中学校などでの測定を一般質問で要求

放射線測定 市内65ヶ所に拡大

全ての小中学校、保育園、幼稚園での放射線測定実施を求めた細野りゅう子党市議の質問に、「これまでの場所（7小学校）を拡大し、測定する」（保健所長）と答弁しました。町田市は、10月24日から全小学校42校を始め、中学校や公園など65ヶ所で放射線測定をおこないました。

10月4日の本会議で、日本共産党が提出した『福島原発事故による放射能汚染から子どもと国民の健康を守る対策を求める意見書』が、共産党と民主党・社民・ネットの全員、公明党、自由民主、志政クラブ、諸派の一部の賛成多数で可決されました。町田市議会は国に対して、「放射能汚染の全面調査」や「原発からの撤退」などを求めました。



### 日本共産党提出

『福島原発事故による放射能汚染から子どもと国民の健康を守る対策を求める意見書』

賛成多数で可決！

町田市議会2011年第3回定例会（9月議会）が、8月30日から10月4日までおこなわれました。日本共産党市議団は、東日本大震災の教訓を生かし、震災・原発事故から市民のいのちとくらしを守る市政を求めて奮闘しました。党市議団は、10月初旬に3回目となる放射線測定を実施し、市長に申し入れをおこないました。また、新日本婦人の会町田支部が提出した請願の採択にもなう「ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等を求める意見書」が全会一致で可決されました。

### 家具転倒防止器具助成やエネルギー対策事業など予算化

日本共産党は、6月議会で、市民から申し込みが殺到した家具転倒防止器具助成の追加や太陽光発電システム設置補助の拡充などを求めましたが、今議会の補正予算に盛り込まれました。市内2ヶ所の下水処理場に保管されている放射能が検出された汚泥焼却灰を処分する予算も可決しました。

### 「原発ゼロの日本」へ市民と力を合わせて

日本共産党は10月、「大震災・原発災害にあたっての提言（第3次）」を発表、野田首相に提出しました。国の責任によるすべての被災者の生活と生業の支援をはじめ、「原発ゼロの日本」へ、撤退の政治的決断と国民的合意によるプログラム策定を求めました。「原発ゼロ」の一点で市民と力を合わせがばります。

